

2024 年 10 月 12 日

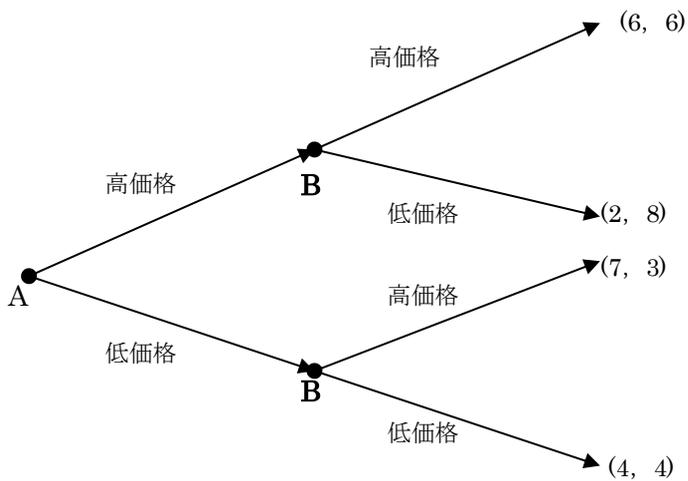
科 目 名	受験番号：	採 点 欄
ミクロ経済学	氏 名：	

1. ある完全競争市場において需要曲線が $Q=80-P/2$ 、供給曲線が $Q=P-10$ で与えられている時、以下の問いに答えなさい。ただし、 Q は数量、 P は価格を表している。

(1) 均衡価格、均衡生産量、消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰をそれぞれ求めなさい。(各 3 点×5)

(2) 財 1 単位あたり 3 の間接税が課された際に得られる税収と死荷重の大きさをそれぞれ求めなさい。(各 5 点×2)

2. 企業 A と企業 B が代替的な製品を販売している。はじめに、企業 A がこの製品を「高価格」で販売するか「低価格」で販売するかを決める。次に、それを観察した上で企業 B が「高価格」で販売するか「低価格」で販売するかを決定する。そのゲームの樹が以下のように示される時、均衡における両企業の利得を求めなさい。(15 点)



(括弧内の数値うち、左が A の利得を、右が B の利得を表す。)

3. ある独占企業の総費用関数が $C = Q^2/2 + 10$ 、この企業の直面する需要関数が $Q = 120 - P$ で示される。利潤を最大にする生産量を求めなさい。ただし、 C は総費用、 Q は生産量、 P は価格を表している。(15 点)

4. 「逆選択」とは何か、具体的な例を一つ挙げ説明しなさい。(15 点)

5. 「公共財」とはどのような財か、その定義を説明し、実際の例を一つ挙げなさい。(15 点)

6. 次の用語の意味を簡潔に述べなさい。(各 3 点×5)

- (1) 外部効果
- (2) 供給の価格弾力性
- (3) 限界効用
- (4) レモン市場
- (5) ピグー税